

『道路調査設計ノウハウ集』改訂の経緯

平成11年、『道路調査設計ノウハウ集』初版の作成に至ったのには、次の二つの背景がありました。

一つ目は技術者における問題です。

時代の流れとともに、業務量増大、複雑化・多様化、定員削減、外部委託化、直営業務の減少、現場経験の不足などが進み、ノウハウの蓄積（技術の伝承）が難しい時代となりました。

また、CAD等のコンピューターを活用した設計への移行が進むとともに、過程の入口と出口しかわからない（内部でどのような基準のもと、どのような検討や処理がされているかわからない）といった問題はさらに高まる傾向にありました。

その結果、事業者およびコンサルタントにおける技術力の低下が懸念されておりました。

これらの問題の解決には、技術基準等を補完するマニュアルよりも、失敗・問題事例等を踏まえ、経験をカバーする「ノウハウ集」が特に必要と考えました。

二つ目は公共事業のコスト縮減の一環として、「東北地方建設局 コスト縮減対策行動指針」（平成9年7月10日）が発表されたタイミングであったということです。

道路事業における施策の一つとして、調査設計の充実とともにコスト縮減を図ることを目的に、次の項目が掲げられました。

* 道路設計プロセスの見直し

* 調査設計ノウハウ集の作成

この二項目は、相互に関連するものであり、「プロセス」をさらに充実・補完するものとして「ノウハウ集」が位置づけられるものです。

その後、経年による記載内容の変化、政令（道路構造令）・基準・参考文献等の改訂、新たな社会情勢への対応（PI、建設環境、景観配慮、コスト縮減、維持管理の重要性、ICTへの対応）等により、大規模な見直しが必要となってきたことから、再び道路調査設計研究会を立ち上げ、環境部門を新たに加えて、全体を見直しました。

見直しの手法としては、初版作成時と同様にアンケート調査によって、ベテラン技術者のノウハウを幅広く提供いただきました。

それらノウハウは各専門技術者の団体に構成するワーキンググループによって、「若手技術者に伝えるべき技術的ノウハウ」であるかという視点で検討を重ね、改訂版としてとりまとめています。

アンケート実施状況としては下記のとおり、各関係機関の多くのベテラン技術者

から御協力いただきましたことに、この場を借りて御礼申し上げます。
御協力いただいた皆様、ありがとうございました。

(1) アンケート調査の実施概要

① アンケートの対象団体

【国土交通省】

東北地方整備局道路部・および東北地方整備局管内各事務所

【地方自治体】

東北6県・および仙台市

【民間】

NEXCO東日本東北支社、(公財)日本測量調査技術協会、(一社)東北測量設計協会、(一社)東北地質調査業協会、(一社)建設コンサルタンツ協会東北支部

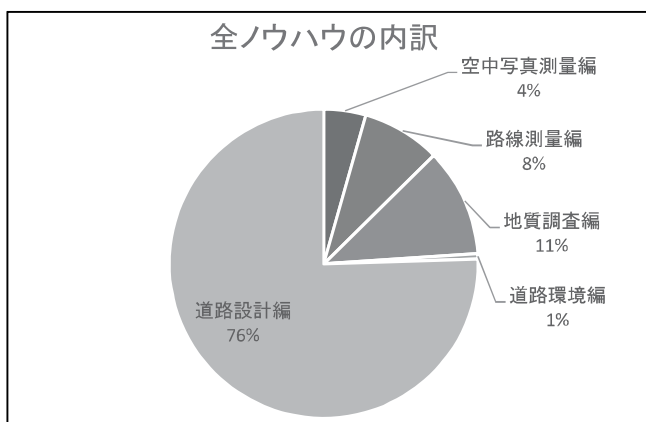
② アンケート調査の期間

平成28年11月1日(火)～平成29年1月20日(金)

(2) アンケート調査の結果

改訂にあたってのアンケートでは、既存の設問に対し修正や更新をした方がよいというケースと、既存の設問にはない新たなノウハウとして提供していただいたケースの二つがあり、全体で363の回答をいただきました。

分野	修正・更新	新規設問	合計
空中写真測量編	7	9	16
路線測量編	7	23	30
地質調査編	18	23	41
道路環境編	0	2	2
道路設計編	92	182	274
合計	124	239	363



(3)アンケート結果を踏まえた改定の結果

アンケートの意見はそれぞれの分野のワーキンググループで集計し、内容の重複、趣旨の統合化、系統立てた設問に配慮した上で、初版設問に対しては200問中177問の更新をし、新規として56問の追加をしました。

また、例えば「CADを活用した設計の利点は？」など、時間の経過により記載不要になったノウハウ17問については削除しています。

分野	初版削除	初版更新	原文維持	新規作成
空中写真測量編	1	23	0	7
路線測量編	2	21	0	3
地質調査編	0	42	0	5
道路環境編	0	0	0	22
道路設計編(設計一般)	9	10	2	9
道路設計編(ルート選定)	0	9	0	0
道路設計編(平面計画)	0	14	1	1
道路設計編(縦断計画)	0	14	2	0
道路設計編(横断計画)	4	12	1	4
道路設計編(排水計画)	0	3	0	1
道路設計編(構造物計画)	0	10	0	0
道路設計編(交差点計画)	0	13	0	2
道路設計編(立体交差点計画)	1	6	0	1
特別編	0	0	0	1
小計	17	177	6	56
合計	17	239		